

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	環境保全型農業論 [Sustainable Agriculture Systems]				
科目コード	218400	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	山口 健一				
授業概要	<p>農業は食料供給など公益的な機能を有する反面、生産性を追求した今日では環境負荷や食への安全性が懸念されることも否めない。本講義では、慣行農業における化学農薬・肥料や家畜排泄物によって生じている環境負荷について解説し、環境保全型の農業技術について講述する。さらに、環境保全型農業の一つである有機農業の現状について国内外の事例を紹介し、これからの農業が進むべき方向を考察する。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業と地球環境</li> <li>2. 農業のメカニズム</li> <li>3. 農業の多面的機能</li> <li>3. 慣行農業の環境上の問題点 (1)合成農薬</li> <li>4. 慣行農業の環境上の問題点 (2)化学肥料</li> <li>5. 慣行農業の環境上の問題点 (3)家畜排泄物</li> <li>6. 環境保全型農業技術 (1)栽培法</li> <li>7. 環境保全型農業技術 (2)施肥法</li> <li>8. 環境保全型農業技術 (3)防除法</li> <li>9. 環境保全型農業技術 (4)リサイクリング</li> <li>13. 最新の技術動向</li> <li>12. 関連法令の動向</li> <li>13. 有機農業(国内事例)</li> <li>14. 有機農業(海外事例)</li> <li>15. 持続可能な循環型農業</li> </ol>				
授業の到達目標	農業の多面的な機能及び作物生産に起因する環境負荷について理解する。				
評価方法	定期試験, 出席率, リポートを総合的に判断する。				
テキスト	なし(参考資料を適宜配布)				
参考書	授業の進行に伴って、参考書を適宜紹介する。				
備考					